



こんにちは！ 細木りょう です。

日本共産党高知県議団ニュース

発行 日本共産党高知県議団
編集 細木 良
No.743 2024年5月12・19日
県議会控室 823-9524
ファックス 823-9075
携帯090-8972-1478
高知市介良乙3668-11

このニュースは政務活動費の一部を活用しています

【緊迫】 国会審議「農業基本法改定案」

先進諸国で最低の食料自給率38%、農業従事者の減少や高齢化、コスト高など崩壊の危機が広がる農業と農村、この危機をどう打開するのか問われるなか、岸田内閣は食料・農業・農村基本法改定案と関連法案を閣議決定し、現在国会で審議されています。しかしその中身は、危機打開どころか事態をさらに深刻化し亡国への道に導きかねないものです。

最大の問題は「食料安全保障の確保」といいながら食料自給率の回復・向上「目標」を国政の課題から投げ捨て「指標」に格下げしていることです。食や農の危機の根本にあるのは、歯止めなき輸入自由化と、価格保障・所得補償の削減・廃止など市場まかせの農政です。

また合わせて提案されている「食料供給困難事態対策法案」は、輸入途絶など不測の事態に際し、コメ・ムギの増産や、作付け転換で花農家にイモを作らせることなどを罰則付きで強制できる、さながら「戦時食糧法」の内容となっていることも重大です。平時には農業の崩壊を放置しながら、いざとなったら作付けを強制する、戦時さながらの亡国農政そのものです。

改定案は規模拡大、輸出促進、スマート農業など盛り込まれていますが、今問われているのは、苦しみながらも踏ん張っている現場の農家のみなさんの所得改善策を盛り込むことではないでしょうか。多くの問題のある改定案は廃案にし、食と農の再生に役立つ予算を抜本的に拡充させることが求められています。

第95回メーデー高知県中央集會に 県議団で参加しました。



「統一教会と政界の癒着を切る！」

ジャーナリスト鈴木エイトさん講演

5月25日(土) 14:00~

ソール3F 大会議室 参加費：1000円

*チケットあります(細木まで)

細木りょうの“まいゆう日誌”

○(写真左) 憲法記念日の3日、はりまや橋交差点で「こうち9条の会」のアピール行動に参加。短歌9条の会の一員として平和の歌を詠みました。4月28日には憲法施行77周年県民のつどいがあり、田中優子さん(法政大学前総長)の講演にも参加。自民のなんでも閣議決定の政治、憲法空洞化は許してはならないと指摘されました。

○(写真中) 4月27日、特定利用港湾学習会(議会報告)を三里ふれあいセンターで行いました。「平時」であってもアメリカの起こす戦争に加担、支援する拠点として高知新港等が使われ、標的として攻撃されかねない危険な内容をもっと多くの方に知らせたいと思います。学習会開催のご要望ありましたらぜひご連絡ください。

○(写真右) 東部環境センターで開催された高知ばら会の鑑賞会へ。紀元前から香りの良いばらと文献に記された「ロサ・ダマスクナ」ほかたくさんのおもてなしが咲き誇っていました♪

●2日、県内の市町村議員の会「ゆずの会」のみなさん12名と共産党県議団が懇談を行いました。テーマは「人口減少対策」。産業振興や仕事づくり、安心して出産できる医療体制、中山間地域の学校存続など現状や要望をお聞きました。



はみだしヴォイス 童謡「オバケなんてないさ」の作曲で知られる幸陽さんが92歳で亡くなりました。以前医療生協に勤務していた時、私が書いた「虹を見たかい」という詞に曲をつけていただき感激した思い出があります。高齢者の人権を守る日本高齢期運動連絡会等で活躍されました。合掌。